

資料提供
平成 27 年 3 月 17 日
課 名 林業課
担当者 寺田・栗栖
電 話 082-513-3688
内 線 3688

今年度からスタートした「ひろしま木造建築塾」の修了証書授与式を開催します！

1 趣旨

今年度スタートした、木造設計に精通した建築士を育成する「ひろしま木造建築塾」の修了者を初めて認定したので、修了証書の授与式を行う。

2 日時及び場所

- (1) 日時：平成 27 年 3 月 24 日（火） 13：00～13：30
- (2) 場所：北館 2 階 第 1 会議室

3 出席者

- 修了者（18 名〔予定〕）【別紙】
- 広島県知事 湯崎英彦

4 授与式の概要

- (1) 修了者代表発表（3 名）
- (2) 修了証書授与
- (3) 知事挨拶
- (4) 写真撮影

5 代表発表の概要

小学校の木造化をテーマとして、修了者が作成した提案書（コンセプト、全体配置、平面図、断面図等）の中で、広島県産材を活かした特徴的な 3 作品の発表を行う。

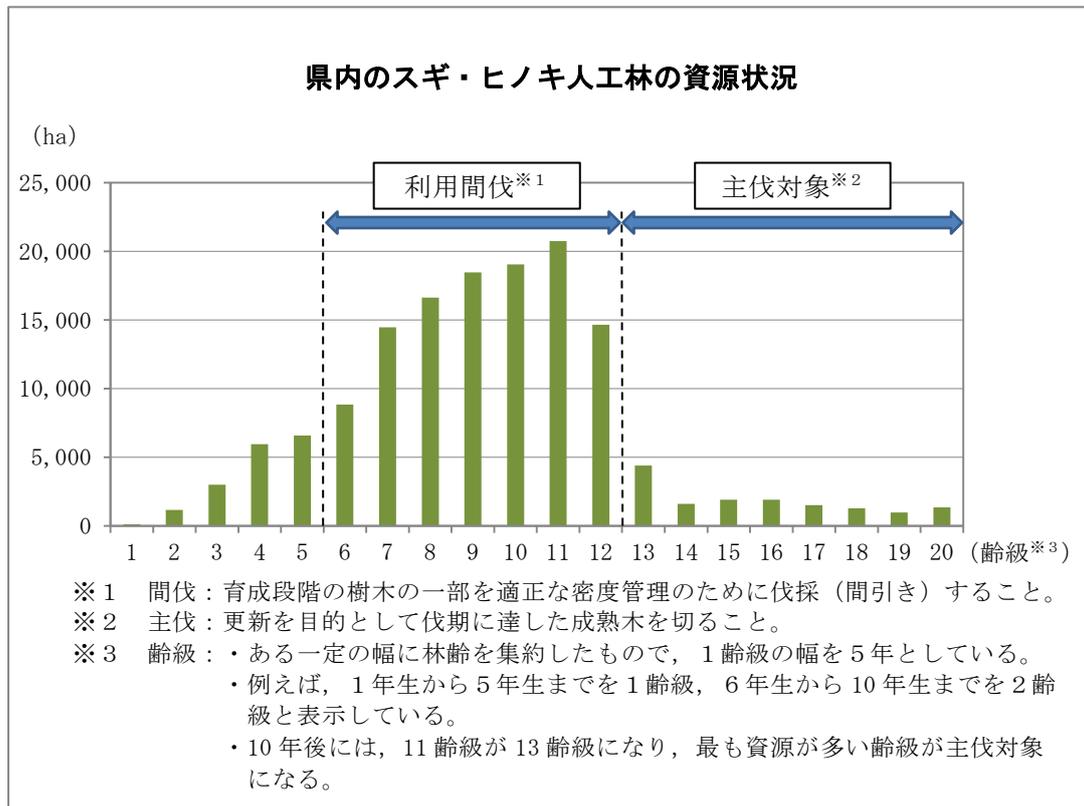
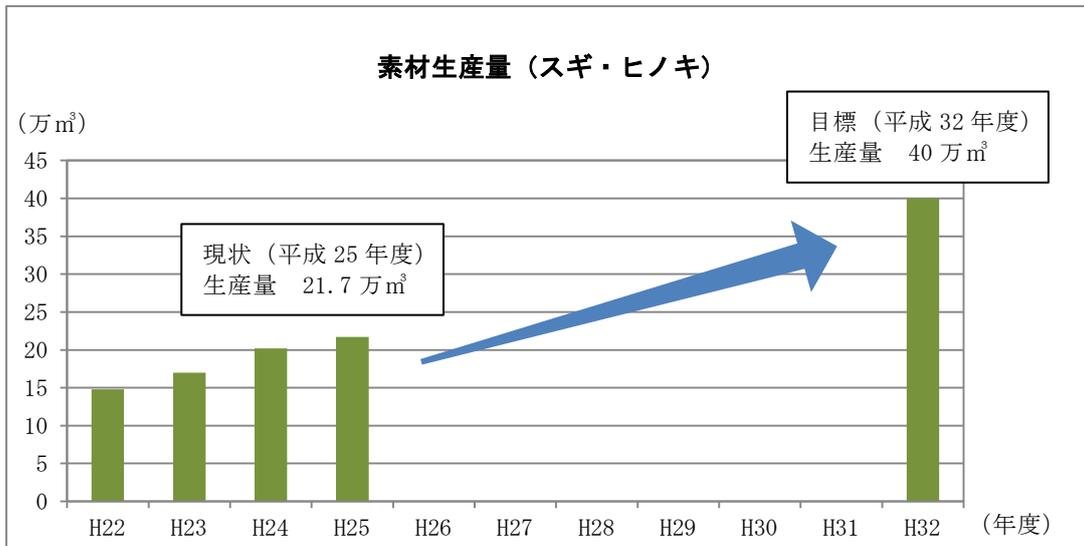
発表者（50 音順）	選定の視点
ささおか よしのり 佐々岡 由 訓	地域の立木価値を高める木材利用
しばた やすあき 柴 田 安 章	周辺環境との調和及びバランスのとれた県産材活用
はらい たかし 原 井 隆	魅力的な配置計画と身体スケールを意識した空間設計

※ 代表作品については、木材コーディネーター講座の講師が選定

「ひろしま木造建築塾」のねらい

これまで、2020 広島県農林水産業チャレンジプランに基づき、木材生産体制や加工体制の整備、県産材需要の拡大に重点的に取り組んだ結果、間伐を中心として素材生産量（スギ・ヒノキ）は着実に増大してきた。

今後、更に森林資源が充実し、10年後には主伐期を迎えることから、新たな木材需要が見込まれる公共建築物や商業ビルなどへの木材の利用拡大を促進するため、これら住宅以外の建築物の設計を担う建築士の育成を目的として、今年度から、ひろしま林業ビジネスモデル実践プロジェクトにおいて「ひろしま木造建築塾」を開始した。



「ひろしま木造建築塾」修了者

ふりがな 氏名 (50音順)	建築士事務所 (所在地)
いまがわ ただお 今川 忠男	今川建築設計 (福山市)
うみに えいじ 海谷 英璽	(有) 海谷建築設計事務所 (広島市)
おおつか のりまさ 大塚 規正	(株) 小西建築設計事務所 (尾道市)
おかだ けいし 岡田 啓史	(株) 感性舎 (広島市)
かたぬま だいき 潟沼 大樹	大旗連合建築設計 (株) (広島市)
かどた るみ 門田 留美	(株) 河本組 (安芸太田町)
かねほり けんいち 金堀 健一	(株) 住宅デザイン研究所 (広島市)
ささおか よしのり 佐々岡 由訓	(有) 佐々岡建設一級建築士事務所 (広島市)
し けんぶん 司 建文	S I 建築設計 (株) (広島市)
しばた やすあき 柴田 安章	(株) NSP設計 (広島市)
なかお まこと 中尾 誠	広島ランバーテック (株) (広島市)
はせがわ むねかず 長谷川 統一	(株) 杉田三郎建築設計事務所 (広島市)
はまだ まさのり 濱田 昌範	(株) 濱田昌範建築設計事務所 (尾道市)
はらい たかし 原井 隆	原井隆建築設計事務所 (三次市)
ひらはた たかひろ 平畑 隆浩	平畑建設 (株) 一級建築設計事務所 (三原市)
まえおか まさのぶ 前岡 正伸	まる (株) ○つくり設計 (江田島市)
みはら せいし 三原 聖史	(株) スガノ (広島市)
もりちか かずお 森近 和夫	(有) 元廣建築設計事務所 (尾道市)

平成26年度ひろしま木造建築塾の取組について

1 趣旨

県産材の新たな需要として見込まれる、住宅以外の建築物の木造・木質化を促進するため、今年度、「ひろしま木造建築塾」を実施し、木造設計に精通した建築士を育成した。

2 塾の特徴 ～全国初の実践的な育成～

建築士が、中大規模建築物の木造設計に関する技術を、専門家の講義・演習を通じて習得することに加え、林業、木材産業等の実務者の参加により、県産材の特性や調達方法等を学び、建築士と他分野の人的ネットワークの構築を目指した。

また、小学校の木造化をテーマに、各講座の内容に沿った設計演習を行い、講座の最終日で、各受講者が作成した提案書（コンセプト、全体配置、平面図、断面図等）の発表と講評会を実施した。

3 修了者

18名（県内で業務を行う建築士事務所に所属する一級建築士）

4 講座の概要

区 分	講座のねらいと内容	日 程
木材コーディネート講座	<p>○ねらい 木造設計の基礎情報習得と人的ネットワークの構築</p> <p>○内容 ①木造建築物に関する概論 ②広島県産材の生産と流通の状況 ③広島県産材を活用した木造建築計画を題材としたワークショップ</p> <p>※林業、木材産業等の実務者15名が参加</p>	<p>11月11日(火) ～ 11月13日(木)</p>
木造・木質化設計監理講座	<p>○ねらい 専門家の講義・演習による、高度な設計技術の習得</p> <p>○内容 ①木質構造計画 ②建築計画 ③防耐火計画、耐久性計画 ④設計演習の講評会</p>	<p>①11月26日(水) ②12月17日(水) ③1月20日(火) ④2月19日(木)</p>



【提案書の発表】



【講評の様子】

5 講師

講座区分	氏名 (50音順)	所属・役職名
木材コーディネート講座	片山 和俊	東京藝術大学 名誉教授 建築家
	原田 浩司	木構造振興(株) 客員研究員 構造一級建築士
	藤田 和彦	広島県立総合技術研究所 林業技術センター 総括研究員(兼)副部長
	能口 秀一	京都府立林業大学校 客員教授
木造・木質化設計監理講座	長澤 悟	東洋大学 名誉教授 【建築計画分野】
	中島 正夫	関東学院大学 教授 【耐久性計画分野】
	安井 昇	早稲田大学理工学研究所 客員研究員 【防耐火計画分野】
	山田 憲明	構造一級建築士 【木質構造計画分野】

※経歴は別紙のとおり

6 今後の展開

(1) 平成27年度事業の概要

- 修了者のスキルアップの場として、修了者が関わる木造建築物の設計を支援
- 引き続き「ひろしま木造建築塾」を実施し、20名程度の建築士を育成【上半期】
- 平成26・27年度の修了者を対象として、より実践的な講座を実施【下半期】

(2) 木造・木質化に向けた環境整備

修了者を県のホームページ等で広く周知し、事業者から木造・木質化の相談や設計が依頼される環境整備に取り組む。

(3) 人的ネットワークの強化に向けた取組

修了者同士や他分野（林業・木材産業等の実務者）との情報交換等の場を設け、人的ネットワークの強化に取り組む。

平成 26 年度「ひろしま木造建築塾」講師経歴

■ 木材コーディネーター講座 (50 音順)

片山 和俊 (かたやま かずとし)

東京藝術大学名誉教授・建築家

1968 年東京藝術大学建築科，同修士課程修了。在学中に集落のデザインサーベイを行う。住宅を中心に設計活動を行う傍ら各地の町並みや景観計画に係わり，同時に東京藝術大学建築科で後進の指導にあたる。山形県金山町町並み整備計画との係わりが長く，道路，大堰・八幡公園，蔵史館ひろば，木造屋根付き歩道橋きごころ橋や町営住宅などの設計を行う。

【主な受賞】1995 年彩の国ふれあいの森森林科学館・宿泊棟で日本建築家協会新人賞，1996 年日本建築学会作品選奨，2004 年山形県金山町「街並みづくり 100 年運動」で日本建築学会賞（業績・共同），2007 年日本土木学会デザイン賞・最優秀賞（共同）

【主な著書】「空間作法のフィールド・ノート」（彰国社，1989），「まちみちすまい」（東京芸術大学片山和俊建築展図録），「家の顔」〔くうねるところにすむところ 子どもたちに伝えたい家の本〕（インデックスコミュニケーションズ，2006）

原田 浩司 (はらだ こうじ)

1982 年広島大学工学部第四類構造工学課程卒業。安藤建設（株）入社。その後，木造住宅の工務店，木質構造専門の構造事務所，集材メーカーを経て，現在，木構造振興（株）客員研究員。ウッドストック主宰。山佐木材（株）営業部。一級建築士（構造一級建築士）・一級施工管理技士・技術士（森林部門・林産）。

藤田 和彦 (ふじた かずひこ)

広島県立総合技術研究所林業技術センター林業研究部総括研究員兼副部長

1981 年愛媛大学林学科（森林工学）卒。県職員（林業職），林業普及指導員（林業機械専門技術員）。2007 年広島県立林業試験場木材担当研究員。2011 年日本木材学会地域木材産業研究会代表幹事。森林総合研究所などの研究機関や企業と連携し，県産材，異樹種集成材，LVL，CLT など木質材料の荷重と変形量の関係に着目した強度性能評価を多数行ってきた。乾燥材にも注目し，安全・安心な乾燥材生産技術の開発事業により，内部割れや強度低下の少ない乾燥技術を開発した。最近では防耐火・内層準不燃化の研究も行い，LVL 内装準不燃の認定に関わった。また，日本木材学会において地域木材産業研究会を立ち上げ，地方公設試験研究機関の研究員を中心に，産・学・官の密接な連携により研究や情報交換を行い，地域の木材関連産業を活性化するべく活動を行っている。

能口 秀一 (のぐち しゅういち)

京都府立林業大学校客員教授・有限会社ウッズ代表取締役・NPO 法人サウンドウッズ副代表理事・林業技士(林産)

1991年立命館大学文学部人文学科卒業。1994-2003年製材所勤務。2004-現在 有限会社ウッズ/能口秀一研究室代表取締役。2009-現在 NPO 法人サウンドウッズ副代表理事。2012-現在 京都府立林業大学校客員教授。

森づくりに直結する木材調達と地域産材コーディネートの先駆者として、全国的に注目されている。NPO 法人サウンドウッズが主催する木材コーディネーター養成講座の講師や、京都府立林業大学校客員教授として後進の人材育成に関わる。

【主な受賞】平成17年兵庫県産木材需要拡大優良事例コンクール優秀賞，第七回木材供給システム優良事例コンクール全日本木材市場連盟会長賞

【主な著書】CPD講座，木材コーディネート講座，日本建築士会連合会 会誌「建築士」連載 (2013年9月～2014年6月)

■ 木造・木質化設計監理講座 (50音順)

長澤 悟 (ながさわ さとる)

東洋大学名誉教授・工学博士

教育環境研究所理事長兼所長。法政大学非常勤講師。東京工業大学教育施設環境研究センター非常勤講師。国立教育政策研究所文教施設研究センター客員研究員。A-WASS (木と建築で創造する共生社会実践研究会) 会長。

東京大学大学院博士課程修了。東京大学助手。日本大学工学部助教授，教授。東洋大学理工学部教授を経て現職。

専門分野は建築計画 (教育施設，地域施設，住宅等)，設計。学校建築計画，地域施設計画，計画・設計プロセス，木の建築等に関する研究を進め，特に教職員・PTA・住民・子どもたちが参加する計画プロセスを取りながら，新しい学校づくりを実践。

【主な受賞】1991 日本建築学会賞 [作品] (浪合学校)，2000 日本建築学会賞 [業績] (福島県三春町の一連の学校計画)，1998 第18回福島県建築文化賞準賞 (福島県棚倉町立社川小学校)，2006 日本建築学会作品選奨 (昭和町立押原小学校)，2008 同 (坂井市立丸岡南中学校)，2010 同 (府中市立府中小学校・府中中学校)

【主な著書】「やればできる学校革命」(日本評論社，1998)，「スクール・リボリューション」(彰国社，2001)，「建築設計資料105 学校3」(建築思潮研究所，2006)

中島 正夫 (なかじま まさお)

関東学院大学・教授

1999 年関東学院大学工学部建築学科教授。1999 年コスタリカ国立大学建築学部客員講師 (～1999 年 9 月)。2002 年オックスフォード大学環境社会倫理研究センターリサーチフェロー (～2003 年 8 月)。2008 年横浜市木造住宅耐震化促進策検討会議議長。2010 年大学副学長 (～2013 年 12 月)

【主な著書】「木造住宅の耐久設計と維持管理・劣化診断」共著 ((財) 日本住宅木材技術センター , 2002), 「建築工事標準仕様書・同解説 JASS11 (木工事)」共著 ((社) 日本建築), 「木質構造の設計」共著 ((社) 日本建築学会, 2009), 「安全で長持ちする木の家」共著 (ラトルズ出版, 2010), 「集成材建築物設計の手引き」共著 (大成出版, 2012)

安井 昇 (やすい のぼる)

早稲田大学理工学研究所客員研究員・桜設計集団代表

1968 年京都市生まれ。東京理科大学理工学研究科修了。積水ハウス勤務を経て, 1999 年桜設計集団設立。2004 年早稲田大学理工学研究科博士号取得。現在, 東京都市大学非常勤講師。岐阜県立森林文化アカデミー非常勤講師。建築設計のほか, 建築防火が専門

山田 憲明 (やまだ のりあき)

株式会社山田憲明構造設計事務所代表取締役・一級建築士・構造設計一級建築士

1973 年東京都生まれ。1997 年京都大学工学部建築学科卒業。1997 年増田建築構造事務所入社。2012 年山田憲明構造設計事務所設立。2013 年～早稲田大学大学院非常勤講師

【主な受賞】2005 年第 1 回ものづくり日本大賞および第 7 回国土技術開発賞最優秀賞受賞 (共に, 伝統構法による大規模天守の復元技術で共同受賞), 2011 年第 22 回 JSCA 賞作品賞 (国際教養大学図書館棟の構造設計), 2012 年第 7 回日本構造デザイン賞 (東北大学大学院環境科学研究科エコラボの構造設計)

【主な著書】「構造デザインの歩み」(共編著, 建築技術, 2010 年), 「ラクラク木構造入門」(共著, エクスナレッジ, 2013 年), 「構造デザイン入門」(共著, エクスナレッジ, 2013 年), 「建築形態と力学的感性」(共著, 日本建築学会, 2014 年), 「合格するためのビル管理受験テキスト 建築物の構造概論」(共著, オーム社, 2014 年), 「構造デザインマップ 東京」(総合資格, 共編著, 2014 年)